

本市初の義務教育学校

明野五葉学園開校

この春、明野五葉学園が開校しました。初年度の今年度は、全校児童・生徒927人が新しい学び舎で未来を切り拓く力を身に付けていきます。今回は、小中一貫教育を行う、本市初の義務教育学校「明野五葉学園」の特徴について紹介します。

【問】義務教育学校整備課（本庁3階）

☎ 22-0191



5つの葉（五葉）の中に「アケノ」の文字を入れた校章



2万冊の本を所蔵できるメディアセンター。大型モニターを使用し、ビデオ会議で他校と交流ができる。



クッション性のある床を使用した前期課程の体育館



デザイン性のある大型ピロティ

明野五葉学園の教育の3つの柱

キャリア教育

前期課程でのまち探検や起業体験で得た学びをとおり、後期課程で将来を考えるきっかけにつなげます

郷土愛醸成

地域産業や特産品を学び、郷土を愛し郷土で活躍する人材を育みます

グローバル教育

1・2年生から外国語活動を実施し、グローバル社会で活躍する力を身に付けます

義務教育学校の特徴

9年制を活かした教育活動

- 前期課程（小学生）と後期課程（中学生）の学びの円滑な接続
- 5、6年生から教科担任制を導入
- 他学年と合同で授業や学校行事を実施

小・中学校の枠を超えた授業やコミュニケーションが可能に



よりよい将来の実現と社会を生きる力の習得へ



明野五葉学園 入山 克巳校長

明野地区の5つの小学校と明野中学校が統合し、明野五葉学園が開校しました。

本校は文部科学省教育課程特別校の指定を受け、独自の教育課程である「明野未来デザイン科」を創設し、自分らしい生き方の習得を目指します。また、外国語活動の早期実施により、卒業時には一人で海外旅行に行ってみようと思えるくらいのポジティブさとコミュニケーション力がつけばよいと思います。

AIやロボットの台頭により、子どもたちはこれから変化の激しい時代をいきぬくこととなりますが「未来に羽ばたけ五つの若葉」のスローガンのもと、義務教育学校の特徴を活かし自主性や協調性、さらには創造性を身に付けてもらいたいです。